









上木は是もよし一也此科久く櫛  
 好事のつらきくまは茶の免り  
 味の結へりー 萬里名産矣  
 又政十のこりーきさくた

樓多留三編



羅山評

ホ夕ト<sup>首</sup>

本朝の伊返なり 言の古用テレ 壽山

ホカム 蓬末をかゝる 杖へ毒のうせ 散人

ホシア 程くを初れと栲に嵐吹く 時九

○トヤエ どれがさやう鳥やう 衣紋坂 タドン

トマイ 何ふやうがまど 押柄さいとくわい 南北

トハ、 種名の春ハ粥ヨも 柎立テ 土木

トキノ 尚世の気ニハなうれぬ 袷太夫 志友



トシタを返キと城を足下ノ瀧の巻 五六  
 ホヒア時鳥火入小音の 巧くくまり 日  
 トタカ泥ニ羽二重を釋して杜若 其友  
 トナス訪ふ人の云ひの 庵の位に公 壽山  
 トクミ 花山繅のちらりと必し三日の月 一毛  
 ホヒフ室禪の望もさえて 夕の月 二角  
 トスナ 乃んを仕りやましく母ハ泣出 一 壽海  
 ホモヨ 本ふへ 床つゝ 秋の夜を覚え 生水  
 トキメ 志ひ越しく 春と 溝田へハ名伝ふ 土木

ホノヒ 僕小は吞へはも 春来しやま 雲城  
 トカア 隣へも隠す 化粧も多れ 一 壽海  
 ホウ 権檢の冥キ 雲々の後 時也  
 へワカ 紅粉付ケと 涉し守り 杜若 眠子  
 ホヲリ 花絶の巻る 尼あり 新寺 疏支  
 トカイ 供連しの 彼のまゝ 出川 一 壽  
 トコシ 髪髪の色 花さく 別業 夕トシ  
 ヘク 壺一打て 秋景好 福便 浦丸  
 トミヲ 壺居する 耳ふま たり 寿 椿 和玉



○トカフ年夢てかくのものゝ夫帰連 時丸  
 ○トコヨ 時 多さくく 多事多ふなり 仙子  
 ○ホサア 四ひおとけ子に我多 碎てとせ 上木  
 ○ホサ、本心を定て家才 継一あり 又旭  
 、トフミ 乃中の不自由ハ 駈へ去るく 千層  
 ・ホヒハ 本夢ハ人であまも ぬりーい 千城  
 ホキト 牡丹兄の家に 押柄な 泥坊来ル 眠子  
 へワナ 紅粉の身我レに 競る 流レの身 妙馬  
 トキヒ 渡月橋へ来て 醉とれがヒヨロ 冥カぬ 眠子

○ホソノ 本乃マハ 走てをまゝ 足ぬ 流め 朝 其友  
 ○ホレノ 本夢ハ 終末で 何自 呑み 登り 五 六  
 ○トサ 舎人を 案内 磯の夕暮 三 巴  
 トナカ 去 俵入り 投られ ちち 義ハ 女ハ 竹子  
 トムタ 去 女 侍ひ 扱 扱ケと 女ハ 他人く 吹寄  
 へモト 紅粉 買ふて 床る 妻の 年仕色 夕トシ  
 ○ホシキ 本夢に 一々ハ 可 惜 量より 三 巴  
 ○トワ、 年の 板 夢の 終末が 秋マ あり 歳妻  
 トイハ 去 終の 朝く 唐も 去の 朝の 南北



○ホトノ 骨折くぬ所コホ上ものゆを尼き 百廿  
 ホワヲ 法禪の美キ本家ハ才の世 夕よん  
 ○ヘツフ 扇ハ美他りハ友で冬のもの 意水  
 ホフタ 凡人エ吹く風でな一紅ス川 龍志  
 ホライ 時多 大勢 連レハ 夕よぬもの 一毛  
 トウハ 隠りケル 卯の花垣へ 履リ蒲室 南靴  
 ○トノ 戸でキツク布表に 来た雅の味 香垣  
 トイセ 四ヤ物を 玄ハめて 自由一 藤坊之 柳枝  
 ○トフ とはこい 一 舟の 陶子 遊子

トスヒ 迎も世を 携て 暮らとバ 東と山 子亂  
 ○トシヤ 時守 風之味 緑の 鳴る 屋敷町 南眺  
 ヘコ、 紅粉 花格ヒ 意ハいと 念で 意知に 一寺  
 トヲコ 蛸婦ガ 己レを 知るぬ 木ね 坊 香垣  
 ○ヘ子ニ 下もの 方に 垂折の 下るハ 新イ 枕 香色  
 トタヲ 泊メ 女立て 居ニヤ 氣う 暮身うぬ 遊子  
 ○ホキ 本之 意と 毒肺 布ハ 保平 侍丸  
 ○ヘヲ 夕辰とも 世を 思リ 及 草を 喰ふと 俵 香取  
 ○ヘ、 平家 亡<sup>ナコ</sup>ひて 紅哀の 尼 香山



ホ子ト本妻の姫ハ本の乃具あり 浦丸  
 トノイ乃鏡が糸つて名馬て 嘯がセ 右橋  
 ヘテニ塚重門おろ、宮後そな二本佩レ 百女  
 ホハ千羽皇太孫子 吉日近イなり タドニ  
 ヘミシ平おむろ揚するハ上もなり 教人  
 ヘミシ別家々々貢ぐれなう 師ては 肉山  
 トシク南人の耳へ日本のまが生つ 三巴  
 ホヲハ嘗ちて垂いて 一日春の人 流支  
 トフ、篤実ハ麻食麻菜に麻女房 千々

トヲナ豆腐切ル妻に妻あり 中村屋 一犯  
 トモト友達が丹じて是れり年となり 右橋  
 ○ トヒ 虎の長吼ニ百姓ハ泣リ 妻泣  
 ○ トツキ本妻を連れて橋ふらぐ 浩り 秋月  
 ○ ホコム塚も垣も 狩ケ以骨く虫の声 止好  
 ホイホ本妻ハケウに本塔なり 時々 宮城  
 ○ ホニワ律の兒ニ階の母と 弟ひ合イ 南眺  
 ○ トウ 床ヌハ屋画内ハ亮なり 時丸  
 ○ トシムとふ精ふ名素仲居の精ぬと 笑哭



トウシ 友忠の牛をききがる 庄官どの 赤衣を  
 ○トヤ 隣りへききし屋敷の夕景 きき友  
 ホサイ 信濃寺様 にくれく 赤衣く 南眺  
 ○ホシ けしきくに夜のきききえ日 南孝  
 トヤエ 所く 梵寂の 阿る 法師の 紫衣 百女  
 ○トウウ 回つむりふ 回りぬハ 舌ハ 動くきぬ 竹馬  
 ○トレカ どとやうく人 知らしハ 門ト 福イ 浦丸  
 トサ、 得んをきき王城の 様、 どれ 夕ドン  
 ○ホミ 法界悟る 垣垣 垣り出ス 百合

ヘヲト 紅粉店の 大女房ハ 純ニ 足々 赤衣  
 ホタコ 法花経 様々 移す 如く也 寿山  
 ヘキリ 残りを 痛む 念ま ちの 恙女夫 雲城  
 ホアタ 笑ふ 根の 有るハ 女の 左刀 捌キ 志都  
 ト、モ 棟梁の 棟梁らしハ 物 あり 志友  
 ヘトチ 数龜甲ハ どちらの 乃に 女中もの 志友  
 トコヤ 花衣 教誡して 承えの 初き 時丸  
 トヒツ きを 残りの 蹄の 初又 志友 志城  
 ○ホムス 放ちの むり 志しハ 志し 志衣 眠子



○ト、モ 棟梁の棟梁らしむ物あづり 南眺  
ホアヲ 養公格のちるハ女のち刀捌き 池我  
トソミ 羽世ニ 漆るぬ松の 身たなみ 一規

一 壽評

○トヨタ どの夢がよいともあられぬ田植歌 志友  
○ホツツ 卒をハちまも懐きて夫を拵 和玉  
へリナ 関は 我がよし一井のちすし 威妻  
○トハノ 古俵入 母もくげく 祝きたい 壽を  
○ホカ 号の 級までくろく 軍法 素閣

○トヌハ 障まきちぬれても忍びし 初時 五竹馬

トミタ 止まらぬくろく 足入りし ち支旬 威妻  
ホトタ ぼくしたる 形りもまか 若の味も や城

○ト、コ ちのちをすて 十で ち居ひ ヌトシ  
ホヨ 本末 空と 往い 口十 聖号 敬人

トユミ 毒忌りゆりて 女房の 才嗜し 其友  
トコア ちて ちる ちを 居して 浅香山 南眺

ト、モ ちの 目い ちの 途より 用ひられ 士口  
◎ホクヤ 時ち 聖の ち 山 一 聖 ち 城



ト、ヲ 徳 孤 子 似 隱 也 亦 上 記 登 心 南 眺  
 ○ トニ ス 何 亦 ぞ コハ 義 忠 有 父 弟 捨 去 妻 病 色  
 トヨシ とつさうと 垂く 紙入レの 仕 亦 子 五 柳  
 ホカツ きて 年 の 門トハ ホロシジ そみ かつ 秋 月  
 の へ、 偏 居ハ 瓶 子 の 謎 亦 交 友 友 重 城  
 トタヲ 登 城 を 正 せ ぬ 家 の 流 入 方 寺 西  
 トフタ 年 を とる 舟 の 草 菜 を 交 友 同  
 ホヨミ 本 書 ハ 碎 上 へ は かく して 見 せ たい 古 蹟 色  
 ○ トシタ 得 心 を 仕 せ け ぬ 好 キ 歌 歌 する 南 眺

○ トキミ とも 赤 の 新 更 一 を 交 友 又 是 時 百 女  
 ○ トカタ 赤 大 寺 殿 一 とも 善 ぬ さい 伽 羅 夕 トン  
 ◎ ホク 赤 木 ヤ ア 一 とも 風 流 り なる 千 瓢  
 トテ 逸 甲 八 門 出 ち け け 又 中 城  
 ホシヒ 赤 年 の 頁 一 とも 赤 赤 が 冷 ま する 桂 雨  
 ○ ホサヤ 赤 管 舞 控 へ 子 申 念 の 罪 行 け せ 重 城  
 ○ へシア 屏 風 の 画 自 得 へ 客 を 見 せ せ 三 巴  
 e トヨタ とも 赤 歌 一 とも 赤 寺 夕 トン  
 トウニ とも 赤 一 とも 赤 寺 夕 トン 十 馬



へフ 追ふふ下もナ不破の夜ち ふろ  
ホウヒ青をに王依の戈も是の早 味ろ  
ホウチ彫りおの年ニ百姓何レヤリも 里喋  
ホイヨ本意の感 勢ハ年の夜ニ記 眠子  
トミソ 後て又いはい 傍もある 如王  
トナワ 時ちろあろ 姑のろくみ 眠子  
トヲナ 殿 柄も何し 蕭堂ニ 仲の町 暮夜を  
トメヲ 遠及の女支 樂やぬ 祝呵ろ 土木  
ホスコ 沈しと 岸の 講き 小町寺 南眺

トココ ともりも 意とさるぬとちの 戦ま  
トシハ 後月場志人と 二月十日 竹馬  
ホシタ 本末を又見ろき 大キを遠ナの 眼 空城  
ホシニ 子子虫かせしと 名が終コなる 壽山  
トツエ 乃及の 杖ニ 仰る 解名 棹 終志  
◎ホシハ 本意の 飛ハ 妾の 腹ニ ちろ 土所を  
ホウゴ 租人の 吟遠ハぬ 後家 でき 止好  
ヘワテ 舟舌ハ 漢養で 泥を 潤美 南眺  
トレタ 古 誌を 放して 名 相ハ 考と まれ 南北



ホケフ本山の後身ゆきぬ深い中 青山  
 トメヨ 市人の眼より 藤原の徳と見え 赤坂色  
 ○トナア 乃をねあひ 徳のよみ 押原のより 三巴  
 トムハ 幸を誇のる 徳のよき 花 藤原 曰  
 トニ 戸張画の格とあり 新画こそを 赤坂山  
 トウト 年よりハ 歳一のちあり 年をよぶ 巴力  
 ○へム 下子の役とあり 徳のよき 五十六  
 ホ子タ 金と石と 嵐々 徳のよき 田川 詩丸  
 トカホ 同勢の敵 空 徳をよ 奉 徳侯 夕トレ

○トウシ 隠日とあり 今上 徳の職 歌 赤坂色  
 トテヲ 桜舟 徳のよき 徳のよき 夕トレ  
 トキウ 唐軍をよ 徳のよき 徳のよき 眠子  
 ○トサ 徳のよき 徳のよき 徳のよき 生水  
 トウリ 軒 徳のよき 徳のよき 徳のよき 青山  
 ホサコ 本 徳のよき 徳のよき 徳のよき 夕トレ  
 ホシハ 水 徳のよき 徳のよき 徳のよき 赤坂色  
 ホテウ 簾 徳のよき 徳のよき 徳のよき 二角  
 ホイ 徳のよき 徳のよき 徳のよき 殿 菱



○ トノサ 澄 泉ハ 吾まゝ 酒代云々  
 トハム 朋 慈ヲ 母 檀 林の 報とあり 南北  
 ホウタ 春公ニ 私の 女い 言 軒 馬  
 ホ、ヤ 梵 論と 梵 論 何の 名と云う 若 夕トニ  
 ホニタ テ 版も 存め 意ニ あり 旅 加 者 曰  
 トキツ <sup>ヒ</sup> 危 <sup>ヒ</sup> 退キツ 理 丹の ひと 浮 丸  
 のヘカ 碎 論と云ヤ 吹 出 夕トニ  
 ホウク 本 書 之の 勇ハ 余ク 曲 輪 吹 吹 夕  
 トア ナ 咎 人 の あり まで 這 入 南 禪 寺 城

ホムウ 禮 終ふマ 葉の あり 有 賢 尼 里 蝶  
 トコシ 色一 鴨 衣 之の 死ハ 知 止 好  
 ホアワ 本 の 終ニ 命セ 風 引く 若 女 夫 曰  
 ホカア 帆 柱の 報ニ 報 彼の 報 系之 遜 志  
 ヘムヲ 平 天 下 万の 鳴く 大 揚 屋 寧 城  
 トマチ 時 之 ぬ 山を 尋ひて 徐 級 事 其 友  
 ホスタ 量 火で 盡く ちり たり 尋 ぬ 南 眺  
 トヲ 殿 とハ 下り ぬ かい 人の 狗 一 毛  
 トモシ 時を ぬるものを 思 是に 邪 大 吹 吹











トセヲ友はく、福作もある歸りもの 里塚  
 ホカシ 早きことと 影へ 葉屋の 手あらし 寺山  
 ヘナコ 舟 弟しと 投られし 小ね 柳うら 一寺  
 ホソ 晩し 影ふの 女 送 佐 天 乞 夕ドニ  
 トタム 灯 影を せしと 火さし 虫を 侍 芦 船  
 オウ、 舟 影うら 疑ふも ちる 運 盛りの 寺 山  
 ホノハ 方くく 影ま くれま すと 母 自 憐 子 原  
 ホソニ 女 家へ 心 和 法と して 遊く 新 日 里 塚  
 トウヲ 供さる 連して 柳うら 奈り 下 小 盛 妻

○ヘイ 返るる 二カ いろいろ 立 後 春江  
 ホワタ 影の 影を 我しを 放 けて 太 妻 止 三 巴  
 トアテ 今 欲があつて 飲すに ちういふ 友 芦 船  
 ホタコ 法う 法 楽イに 吐す ちういふ 影 色  
 トヨ トテ 子ニ 位イ 奥 家 を ひく 里 塚  
 ○ホキミ 影 ちういふ 人の 物 影 ちういふ 影 三 巴  
 ○ヘサ 影 月を 下キ 先キ 一 返る 小 田 照  
 ホヲソ 影 の 影 ちういふ 人と ちういふ 相々 下 里 塚  
 トウヒ 影 影 ちういふ 影 ちういふ 影 ちういふ 影 影 色



○トラ 他方西へ 遊く 怪 石 鳴き

○ハカニ 石の洞の 洞 年 柳くまぐ 倭へ 龜 角

ハカチ 返りやあふを と 振る 菊 室の子 秋 月

へヤテ 下も 卯工 約束をり 出来て 下る 芦 童

へトウ 詣り 籠て 春の 牛 五柳

トニヲ 戸 柳 書ふ 女房の 只 茶 大 寺 小田 忠

○ホウ 木ツノ 杖の 春の ぬる 長 果 寺 寺

トシハ 得んを 住を 寺の まいり 舟 寺 寺 土 木

○ホモ 佛の 寺も 月ひ 井 寺 南北

○トケク 吃 隠す 養子 柳 寺 寺 五 柳

トマユ 寺の 寺と 陰持 寺の 寺 寺 寺 子 執

トツメ 菊 寺の 寺 寺 寺 寺 寺 寺 夕 寺

トシ 寺 寺の 寺 寺 寺 寺 寺 寺 一 寺

○ヘヲ 返り 寺の 寺 寺 寺 寺 寺 寺 志 夫

へキヲ 教 龜 甲も 寺 寺 寺 寺 寺 寺 夕 寺

へハ、 寺 寺の 寺 寺 寺 寺 寺 寺 散 人

○ホイタ 頼り 寺の 寺 寺 寺 寺 寺 寺 一 寺

へイト 寺の 悪いも 傍 正の 徒 寺 寺 寺 城



トウ 障りへたふまうつに春雨 漆丸  
 のトクキ 毒とちりせはとちりて涙を盲テ 南孝  
 トヲ 徳用とちり 女十擲り人 南眺  
 へサヲ 糸巾持さうくとむかり大欠気 志旭  
 のホ、 程とえて 出り 本手事の風 里 疎  
 ホミユ 法名寺子代りうと子うおふ 同  
 ホタム ホント尻たうくう草の結ひ質 寺山  
 トヤノ とうぞしてやうふまうつに春世ぬ 南孝  
 のホコ 此れはら内うかこハ ちく 其友

トサ、 ちのあい里で 端境ヒガ利キ 浦花  
 ホ、 帆を下けてうとひ法へ概イ 桂白  
 トモタ 回ひおとけ換積つきわる炭き 大 同  
 トリ 十子麵持する 若草の遊客 夕トシ  
 ぶトケ 帆く舟まふあるをど 糸う流さ 漆丸  
 のトカヨ 障の子 借て 日暮の用と出る 止好  
 トイサ 朋脈と糸足の仕人自じを授け 南眺  
 トヨ、 回りの流り又集りて 版 一寺  
 トイヒ 供ハホヤイで 蛸吓くむりー山 夢を



トコフ 届ひくる云傳淋し 陰志まろ 千原  
 へムミ 屏際の家ハ古代より争ひその 民人  
 ホフ 佛の屑して 佛師負焚る 志大  
 ホコハ 及古窓後世の義理ハ強ぬ胸 タトン  
 トマメ 徳婆る之令ぬのそと 同出度ろ 志大  
 トラ 燈心消しに 起る 凡の燈 竜志  
 ホマカ 帆うけ舟窓ろく又舟り言家災 千原  
 トシイ 彼の氣ヌヤ何り 起る ひとぬ乞 志大  
 〇ホレイ 峯ろれて 何れもろりいれ 志大 旭

トサ 計とばこふそふハきやぬ 伴政 南眺  
 〇ヘカコ 舞ろくを 雷婆も子ヌとく 時丸  
 〇ホウカ 布ろやう 白やうとくぬぬ 一桂  
 〇ヘハミ 舞の下て 舞の下くよ 舞の表し 南北  
 トフユ 走入りり 燈ろろろ 托糸舟 千原  
 ホニヤ 本んハ 女房も志ろぬ 役盛り 志大  
 トユキ 友も進ヌ タアを 尋ひ 言花計 夕ト  
 〇ホチイ 本後の 親んとふ日も 志ろく 志大  
 〇トホソ 隠ろくそろく 針が 持まろろ 竜志



○ホムス放晴の昔一ふふすも衣 千層  
 トヤ 年あやくりま山へ合々入る 雪城  
 ○ホムタ午暮ハ虫をころして 旅一と 火旭  
 ○トアツ戸ハめて 房ハぬをり月と音 南眺  
 トナナ隠子もきく 露ぬをいふの月 時九  
 トナヲ女供入りの房ハ 棧まきも女客 南北  
 ○ホワタ本ふハ我より 知くぬ言 割一狂  
 如作評  
 へキサ 紅粉つけ 祀女僧も 察しられ 旅捕

トクハ得及も 忍ぶるう 咲く花の山 志友  
 ホト 車をも 遠けて 淋しい雨も 竜志  
 ○ホツ 牡丹の根合け 暮の代き 志都  
 ホウヲねとく 毛のき世の多と思われぬ 止好  
 ホハサ 埃りたら 暮を名優ハ 淋しい夕トシ  
 へフカ 別業の 不自由 暮りの暮も 暮城  
 ホカハ 持持のりけい 暮も 暮玉  
 ホタク 愁しいもの だけ 売ハ 暮の市 純我  
 へシニ 及吐 暮と 暮も 暮の 暮 南眺



へニムへいおて送る人へも 栴蓍ある 桂も  
○トハ 徳の傳る 花の 極ま 龜石  
○ナミヲ 徳を積む身よハ不自由も面白 毛を 賊  
トハア十回りの花ハ 柳を 跡ユスル 夕トシ  
○トミリ 朋性 膏ミヤル 夜明けの科 野人 南北  
○トシヲ 何ぞぞでハ 邪ユアありそ 念を法 賦子  
ホハ きて 蚊を 退く 伴ミヨク 南眺  
ホセテ 子子の 漏く 猿寺の 水俸 毛を 賊  
ホム ちどらんの 響の 冬め 志丈

トウシ 徳の 傳る 和尚ユ 尻生 縁 竜志  
へミト 平生の 才持 華被ユ 徳ユレ 二 傍  
○トツ 土用 鏡の 使ユレ 散人  
ホナマ 毛そのハ 何佛ヤユ 毛 磨り 作馬  
ホワタ 髪んハ 毛ぬく 柳ユの 毛ユル 廠妻  
○トナシ 及 徳ハ 念ユレ 低い 染の 毛 町九  
トカニ 何ユヤユに 井代の 毛 握り 墨 一 寄  
ホカロ テ 鏡ヤの 毛ユル 人 在の 論語 後 右 橋  
ホラキ 町ユル 大は 画の 橋ナ 於 仕人 春 江







へムヲ謙るぢよとこそでハ己レその 芦童  
トタカ戸扱くノ筆等 並つて喚ぶ 三巴  
トタイ同イ 着すふたあつた一ちり 志友  
ホハレ あり 酔のた 赤火のま 別業 二角  
一ヨ 名角 男の ぬい 君ガ代 笑地  
ホミコ 笑るもの ぬい ちり ちり ちり 赤山  
トワカ友 友の 悪もの ぬい ちり ちり ちり 南 耽  
トフナ 同 ちり 毎一 ちり ちり ちり 三 巴  
トア ちり ちり 里ハ ちり ちり 月 眠 子

トシノ 透世の 思葉も 秋の 野てうき 赤を  
トシニ 剛衣ひしと うどんげの 尻くそ尾 夕トシ  
トイヒ 赤 画も 入たい ちり の 赤山 里 ちり  
ホウカ ちり ちり ちり ちり ちり 借りの山 夕トシ  
ホハ、 ちり ちり ちり ちり ちり ちり 威 麦  
トミス 何ちり ちり ちり ちり ちり ちり 赤 玉  
ホム ちり ちり ちり ちり ちり ちり 赤 丸  
ホツケ 堀 ちり の 得 ちり ちり ちり ちり 其 友  
トコヲ 底 ちり の 古 ちり ちり ちり ちり 三 巴



○ヘリス 辰も世をせぬ床も居ぬ尻 とき取  
○トサシ 隠れて淋しうする 夢い ころぬ 生も  
ヘシ 下もあお暮で危生縁あり 浦丸  
トシ、友まも白髪も成って始末せぬ とき  
○トモ ことくう 懐きて 嘆ふ子の物 仙子  
トタ こと月ヨハまぬ 根子持 芦船  
トシフ ねんをそ 政院のころ 富士の裾 夕トン  
○トナス 種を失ふりぬ 名後の 雲 南孝  
ホカイ 本下孫の教く 想くの 虫を 信 一孝

トヒソ 取り際も 欠やう 砂して 起渡 琉支  
トニシ 番くまを 二寸いころ 上ももの 勇助  
○トヲ とい知あり 尾す 移進 二橋  
○ヘシ 下手に 替りけ けの ぬく 別業 里妹  
ホア、 本書へ ぬす 左夫の 尾を 作馬  
トヒカ 時切りの 元結の 帯刀 肩と 腰 一孝  
トサ ことくく 倒されて 世盛り 尖地  
トナコ 時どくも なきい 行跡の 更衣 南野  
○トノ 戸赤の 帯ま ことく 催の 味 とき 城



下一夕 毒菓がまゝして 蒸かす 助けられ 都へ  
 ホカス 持松マ 勝ち大谷て 吸い付る 竹馬  
 〇ヘシイ 高屈を 作てまゝ 入母い ちぎ城  
 ホ夕ハ 堀出りの ちねまゝ ちねまゝ 味 夕トシ  
 〇ヘト ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ 民人  
 〇トニキ ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ 小原  
 〇トシ夕 ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ 三巴  
 下モイ 年男 文育を 声がいさ 死うい 百女  
 ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ 千水

〇ホヒカ 佛の 度人の 目と出る 糸の 因 夢を  
 ホ夕 ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ 炎旭  
 ホレウ 明友の 志実を ちねまゝ 運めろこ リンく  
 ホナ ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ 中城  
 トコ 友持 ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ 夕トシ  
 一コ方 友遠ハ 友人より ちねまゝ 九キ 千馬  
 ホ夕 ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ 三巴  
 ホコト 時を ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ  
 トハヲ ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ ちねまゝ 其友



素園評

トライ殿様の女嫌ひハ家のきぢニ橋  
 ホナカ社宇なく皇の色ひまら一夢  
 トウコ取寄くは哥町人の意こる年  
 トクチ戸部も水鏡の者る乳美ひ  
 夕ト  
 へホ 縁丸の這くは紡績の者 南眺  
 へアハ夏改ふ令きて娘ハ流るこる 百女  
 トナア障とる反屋制と飽が束る 眠子  
 トア 種も不種も何くは世の夢 志友

トスサ 達世をとりやうにさうち 百女  
 ホニヒ 星色夜縁あつる人足付 夢を  
 へコメ 平家蟹 是ハ十代目の後胤 千瓢  
 トアサ 友仿又船の七子 投げく 尼 一夢  
 トイ 取附の時の子代を一家分 夢を  
 トカ 時りくはる風扇ふとく 南眺  
 ホフイ 燈のく名の二人流る生田川 眠子  
 ホトキ 本意の年何人妻の意を負 南眺  
 トコト 十符の笑サ摩七符床去佛塚 郊々



へ子 厭 きて 足 せて 道 の ちう の 母 玄 々  
 ホカナ ちう ちう ちう ちう ちう ちう 湯 仙 子  
 ホチシ 本 質 の 猪 鹿 を 田 山 書 生 秘 也 浦 丸  
 へコト 別 腹 又 ちう ちう を 解 ち 綱 改 さ ちう 色  
 ホキア 本 質 の 湯 湯 の 丈 又 足 て ちう 山  
 ホソ 柳 ちう ちう ちう ちう 一 夢  
 ホフシ 防 ちう ちう 振 ちう ちう の 難 ちう 日 二 角  
 へシミ 下 ちう ちう 上 ちう の 難 ちう 足 付 出 し 花 枝  
 へト 別 火 の 丈 の 朋 ちう ちう 狗 家 色

へヒウ 柳 飛 甲 の ひ ちう 泉 ちう の 負 ちう 近 け 威 妻  
 ホケト 細 布 ちう ちう と 織 ちう ちう の 日 南 眺  
 トキニ ちう ちう 東 ちう 恨 ちう ちう の 女 人 ちう ちう 妻  
 ホモ 本 東 無 一 解 ちう ちう の 僅 ちう 色  
 トレト 柳 ちう ちう ちう ちう 女 房 ちう ちう 土 性 金 夕 ト ン  
 ホヤソ 柳 ちう ちう ちう ちう 後 ちう ちう 其 ちう ちう 掃 ちう 三 巴  
 トヒト 柳 ちう ちう ちう ちう の 後 ちう ちう 徒 ちう ちう 九 教 人  
 トスム 柳 ちう ちう ちう ちう 武 者 修 ちう 南 眺  
 トサユ 柳 ちう ちう ちう ちう 日 南 の ちう 佛 ちう 色



ホクナ本んハねりけり藤と成りおとせ 眠子  
トエ ときれハはるる 枝く器お卒 春山  
トリナ泊人ハ便新くても 高い忌日 クト一  
トイコ どりヤ遠ハいなる 徳えをちり 春江  
ホタイ ちん丹たり女房ハ出てりくの 巴勢  
ホキハ 鳳凰ヤ麒麟ガ出ると 摸ハ瘦 其友  
ヘノモ 早口を 終えよさけ 相いそけ ち城  
ホタス 早の急の たら夜ニ二人降こ 内山  
ヘシケ 下よて みる 職 女房ハけちりり 曰

ヘアラ 平仄の合ぬ 詩人の大三十日 ち城  
ホナス 帆ハ合 新波の ちハけす ち 表文  
ヘタキ ちりり 烟子 ちり夜をちり 止好  
トフタ ちりり ちりり ちりり ちりり ちりり 水  
ヘヲ 兵 学者ハ 惜しハ 昌早 浦丸  
ホトラ 本んハ ちりり 有あり 大 ちりり ちりり 城  
トカヒ 途中ニ ちりり ちりり ちりり 詩 戯 麦  
トミカ 遠世の 身ハ 都ハ かくれ ちりり 曰  
トサニ 毒 喰ハ 皿 吸 ちりり 町 西ハ ちりり 五 六



トサヒ捕くゆ 猿も来てあつ人 壱屋 里 峠  
ホチウ 骨ハ折 地紙ハ 残る 宇波の寺 其友  
トヒ、とらさ子 曳て 岸成りの 日を 望み 一毛  
ト、 細きれし 解 捜す 快 一 寺  
トナミ ともふんか ちるれバ 志れぬ 都鳥 厥妻  
トコセ 隣り 堪つる たり 嘆 拂ひ 夕トシ  
ホレト 帆を 上げて 次方ニ 浦の きを 礎 芦 船  
ホサ 坊に びら くらき こと 防ぎ 持 民人  
ト、ヲ 徳 孤 ちる 隣も 早 上 起 ちる 南 眺

ホシス 佛 遠 樹下 石上ニ 殊 拂 ひと 夕トシ  
トタフ 俣 持き 大名の やうな 不自由 處 生水  
ホノヲ 于 鶴 居て 飲 送 ぬる 大百姓 桐 捕  
トカケ とも 位 くら 美人 こと 下 女 へと 土 木  
ホハヨ 牡丹 花の とも くら 世の 盛 衰 夕トシ  
トフイ とも くら 命 列も くら 石 とも 琉 支  
ヘクキ 糸 施 天 劫 徒 仕 けて 糸 とも 琉 支  
トツイ 網 屋の 月 ね とも くら 入 派 湯 巴 勢  
トシレ とも 列 とも くら 義 家 列 とも くら 宇 城



トアヒ殿楹へ汗をまかりし 百姓とも 夢を  
ホサイ惣業佐渡くちりけり 二橋  
ホクカ本書へ組する 尼のあつらん 夕トシ  
ホヒトあつらん 平等院ハ色れとも 桂雨  
ホレへ物々々々 けのまハ絶つ側へ 南眺  
ホハ、骨をくく 正月七 廿日とち 夕トシ  
チトコ屠蘇の酔 又ち地を侍る子の謡 曰  
ト、フを愧との天窓つも 大死こそキ 琉支  
ホタレ本とハ薪ニ花の集買長 南北

ホテハ 夢と夢と 寺町と夢の 終つとも 二橋  
ホコハ 夢と夢と 新法に和寺の花盛り 百廿  
トフへ 年多れハ 不性一字でせと侍る 五六  
トノハ 時又足下 囊中何と 懐かき 志友  
ホカタ 懐くく 懐くく 懐くく 時丸  
トホア 取まきて 後集すくく 婦の路 百合  
トナホ 虎出前の 涙又日 金兼骨斗り 一夢  
ホサテ 本棚のさくら 集らんとも 座敷 二角  
へホテ 平等又 旅す 後家の寺とあり 夕トシ



へアケ 平家源く房の人金屏に源氏の繪を城  
 トタム 殿の多き民の沈痛の報も朽一草  
 トテク 毒の多し亭主で河豚の喰ふ草を  
 トミフ 壺宿する耳よ草何れも草 根 水玉  
 ホワウ 櫛の彌分けるら初と争ひ終 百合  
 へキク 巻甲と伽藍ハ奈有りの皆尉 二角  
 トニシ 多きも濁るは元と礼奉公 タトシ  
 トフフ 供初やの言を愛ハ不思義有り 争戦  
 へフ子 兵出拵ニ多たの根よひする 孝を

トコウ 泥まのいろは 葛藤 責任とイ 孝を

法策評

ホト、本意をよととも 終ねる土用テ 一 夜  
 トヒラ 年暮ハんを明て思こそを 具友  
 ホチタ 帆ハ風の力女房のたすき有り 芦童  
 ト、ハ 友次才ともとも 吹くまの風 里時  
 ホ、ア 童ちるあふ 蓬子の思くけ 一 草  
 のトヲ とりぬ年りの老のまを 秋月  
 トカウ 殿杯の皮をらでまぬらつ不格 一 草



ト子ノ多ク移るる橋の眼のちるる南眺  
 〇トムヒ海りけの移りしきまゝるる南眺  
 ト、ホ年玉の彌羅 移りしきまゝるる南眺  
 ホワア本位のまゝとて移りしきまゝるる南眺  
 トレ 泥の中より重成りの蓮 移りしきまゝるる南眺  
 トヒ 土をえをらるる百も移りしきまゝるる南眺  
 ホイカ 移りしきまゝるる南眺  
 トホマ 移りしきまゝるる南眺  
 ヘツホ 移りしきまゝるる南眺

トカト 移りしきまゝるる南眺  
 ヘヨ子 移りしきまゝるる南眺  
 トウヲ 移りしきまゝるる南眺  
 トムコ 移りしきまゝるる南眺  
 ヘハミ 移りしきまゝるる南眺  
 ホムヨ 移りしきまゝるる南眺  
 トヒシ 移りしきまゝるる南眺  
 ト子ウ 移りしきまゝるる南眺  
 ヘヲナ 移りしきまゝるる南眺



ヘラ 別家の方ハ奢る方ハ  
ヘムイ 庭よりあしとる切乳の安むとふ 法凡  
ヘサカ 舞くくのきーあえハ野の人 南北  
ヘマモ 家々をを又ーつあくと益子まの 南眺  
トマイ 舟のくみ松竹の何る一里 松友  
ホニツ ホウとむハ西く日とと樵てを 浦丸  
トヨヒ 虎の皮より出るーの能くうえ 野人  
ト、 虎の威をくく供の竹を 南眺  
ホコ、 本街及あふれものとは別れ 山城

トウ 鶏眼のそをうつて夜軍 夢山  
ホカト 湯くくと美へむーの友うまの 松橋  
ホハヒ 本妻ハ宮 拙作の品と又あう 夕トシ  
ホム 坊と別る 村の石芋 一壽  
ホクツ 舟膳を喰ふ以窓へ為り 里雪  
ヘスア 柏子本て捨子の股をゆてんる 夢山  
トコタ 年の板 裁るはくくくまうさう 寺城  
ヘ、ヲ 病を本日記尻ひとら 但し書は 南孝  
ホナツ 法辨と成く婆と 罪うたる 和玉



トエカ 隣りの家も甚てとろ泥のつる 夕トシ  
ホニニ 何事や〜ハ 諸事〜 韓政の飯 夕トシ  
ホウ 鳳凰の音ふらふらある 我の徳 夕トシ  
ホウモ 物〜 空〜ハ 雲と 思ひぬ 夕トシ  
トヤム 何〜よ〜 疑ひぬ のらるゝもの 其友  
トタナ 年暮りのや〜ふ〜 又〜ぬるゝ方 千尾  
トハ 何事ぬ 嘆か 存ふが 自由な 一紀  
ホウチ 雲の終〜 嘆 投ぬ〜 遠〜るゝ 粵 三巴  
トシ 隣りの 音〜 走 始まる 野 夕トシ

ホカマ 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜  
ヘソ 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜  
ホスタ 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜  
トキ 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜  
ホカツ 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜  
トシ 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜  
トヲ 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜  
ホセク 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜  
トユア 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜 何〜〜



トムセ 降く 梅が香のくる 世に新寺 一寺  
 トシモ ちんちんらうまうぬみも 百女  
 トカチ 籠ま 午の刀お羊又 長 本門 寺を  
 トヒヲ 籠うあくひんを 籠耳 籠て 籠る 南水  
 トハツ 籠ふ 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る  
 トケシ 籠し 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る  
 トヨミ 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る  
 トホ 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る  
 トシハ 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る

トキト 年々 本々 籠る 籠る 籠る 籠る  
 トヤエ 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る  
 ホサリ 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る  
 ホヨマ 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る  
 ホコヲ 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る  
 トテク 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る  
 ホチシ 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る  
 トアフ 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る  
 ホアイ 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る 籠る



ホマヤ 甚東コマル 汝の思らぬ思一七

甘蘭戸評

ト、ツ 續のくさむよき 勢のく急 百女  
ト午、ま 膝こちふふ 百されと乳見方 志友  
ホシヨ 鰥親を仕さるい えのよの男 旁山  
トウ 湯治一 後ふ夫へのおら糸 龍志  
一キホ 平安城 跟こそむい 法在宗 教人  
ホキ方 懐くつ 侍もとも志んかしき 備丸  
ホフ 坊名の夜ハ 障も毒ん 時丸

ホトコ 先年所 障中くまハ 温宿の御海 家色  
ホテ五 本娘のよきまきまき 餅 櫻袴 士口  
へカウ 平生の孝ハ 月たぐの 運盛り 仙子  
ホニア 室月 使志の 海くさる 足の時 志旭  
トム 竹ふやう 右 鈴有 志帳の舟 眠子  
ホウタ 子子ヤ 志あつ 兜め 杖もも 菊叶  
ト又ホ 去用 子 後ら 海りつ 冥会とる 一才  
へハ、 能ひと 別を人 柄 儀り 志城  
トク 侍とる 先こ くらと 叫く 野と



ホスモ ち〜きんすちの坊の儲けもの 多き  
トサウ ち〜くてもほのりふハ ち〜ち〜 了  
トツヒ 俱〜何あ〜 謀の取をく 夕ト  
トカ 床のせむら 肝 んのり 生水  
ホツノ 読も 拾ふ 歌 枝の目も去来 夕ト  
ホウノ 奉納の歌を ち〜の ち〜を 一  
ホヲ ち〜りとあ〜 男一也 其友  
トコツ <sup>と文</sup> ち〜の ち〜は 親程 ち〜月の下 竹馬  
トシ ち〜に ち〜の ち〜の ち〜を 旗捕

トキマ 年男 近所の声を 待合を 二橋  
トナイ ち〜の中く 煙く 一軒家 南眺  
ヘカナ ち〜く〜 煙ハ 仲人、茶 系丸  
トライ ち〜く〜 ち〜を 男は 仕度 ち〜 竹馬  
トツツ ち〜く〜 踏つけ〜 ち〜ハ ち〜下 夕ト  
ヘスタ 洋〜 候て〜 ち〜馬 帽子 ち〜城  
ホスタ ち〜く〜 ち〜は ち〜へ ち〜 小田  
ホウヨ ち〜を ち〜れ ち〜が 用〜 五  
ホナシ ち〜を ち〜く〜 ち〜の 移を 日 南眺







ホイ 鴨の人のまゝい 箱の裏紙 小田照  
ホアヤ 夢にまゝをて 鴨の糸さくら 垣 志友  
ホ△ 佛のだてハあゝまゝのまゝ 春に  
へチヨ 和粉店とちと 旬ごとく 旅イ女房 内山  
トナヲ 取メのまゝい 路未すり 大回廊 一毛  
ホア 瘡瘡の伽マ 赤本をやり 鳥を  
ホヲキ 法々の伯父と 梅の 瓶付キ 佳雨  
へシ 平家へ味方 仕るる 箱裏 南眺  
トヲス 得んぬのまゝいのも 昨の未だく 雲城

トケマ 藤りても けあゝくううま 吉人ら 三巴  
トヨコ 古依の 鏡より 梅のもの 四草 里跡  
トスハ 年よりハ 夢のまゝい 湯気 親父 口  
ホ夕 岩より ぬたてー 名人 中城  
トハモ <sup>三文</sup> 何あまも ぬたて ぬたて 持テ 誠ト 夢を  
へシハ 糸糸 垢出世の 夢の 這ふ 藤 夕トニ  
ホナヤ 帆柱と ちとて 天の 帆ハ ちとて ちとて 子房  
ト、シ ちとて 十月より ちとて ちとて 人 吹雪  
トノ 土佛と ちとて ちとて 綿細 夕トニ



ホウタ 物たの上では人、馬、初り 一七  
トイ 初を足お年より老毛け、衣袋 友  
トスア 海り客お、美泥の影る島す 里塔  
ホニリ 本妻ハニをむあ 悟る島す 島塔  
ヘコカ 屏風の繪、人を西、團りぬふ 島色  
ホスタ 螢火でまゝあり、夜を弱出し 千原  
トカト 市人の紙屑ひろむ、虎吼す 吹雪  
トヨカ 年浪のよるもまゝあり、かぐれ里 夕トシ  
トクワ 海メ女、首ヲ切リ、化ケ、まゝと 南眺

ホムヲ 細布、胸の、今ハ、大男 威妻

曲破評

トハヨ 土用下の場、とる、言ハ、此後、歌 喜友  
ホツラ 本娘の杖、非、ち、一、並、ヤ、し、れ 都、  
トミシ 年の坂、さ、り、こ、執、事、尾、く、け 浦丸  
ホツシ 本娘、お、遠、あ、り、さ、る、自、身、の、森 了、蝶  
ホタハ 法、義、経、と、答、り、の、杖、こ、ま、を、告 志、志  
トヒノ 毒、を、り、つ、人、の、行、つ、の、も、法、華、あり 志、友  
トツア 戸、法、指、命、と、糸、を、は、く、久 南北



ホムコ 巾着のハムリをみるに 儂く 右 檀  
 トイ 障のド戸を 赤を 吞るく 仙子  
 トシヨ 煉心の 始末の 細く 欲多し 一 毛  
 トモア 殿様を 勿辨なくも 見ても メメ 夢多し  
 トモシ 遠くもの 足す 赤世 夢多し  
 ホアヨ 旅の 湯城の 知人を 訪むを 友  
 トコク 取付て 二葉と 去て 下きんせ 小 房  
 トテマ 戸を 叩くも 鳴まら 侍 夢多し  
 トチ 夢 仙 子

トライ 戸を 立て 親子が ぬれを 出さ 妻 士 口  
 ホミク 佛の 八の 時上 げに くの 後 夢 妻 水  
 ホト 夢 八の 時上 げに くの 後 夢 妻 水  
 ホイ子 帽子を 入 籠て かく 猫の 版 夢 多し  
 ホチシ 巾着の 父の 音 界へ 沈む 甲 夢 多し  
 トヨシ 夢 人の 桶ふき 下 の 夢 夢 多し  
 ホユハ 巾着の 夢 多し 夢 多し 五 六  
 ホアタ 巾着の 夢 多し 夢 多し 夢 多し  
 トシキ 夢 多し 夢 多し 夢 多し 夢 多し



トリサとちりりり 利屈りつて掛キ甲斐 五六  
トイ 毒もあつぬ 醫者の接物 系丸  
ホキ 細い息ひとふがまふ 出る 尖り地  
ホナイ 帆ハ弓とちりりり 矢標の一ト尻 時丸  
ホヨフ 細ひ釘で 夜業 オシ代をふちり 小厂  
トイユ 年の矢又 射りれて 繰ハ弓とちり 一机  
トミキ 礎又合ひぬ 文ちりり 曲帰て切し礎 南眺  
ホカヤ 法子舟家の斤名地 死てあつこちり 意ち  
トカア 何れで 智恵借さう 世房何ホ成 賦子

へキミ 新巻甲を本掃りよつて探てる 夕トシ  
トヤ ちつくと 居りる 八歳の花嫁 南眺  
トカユ 年子を産む 咲きハ何れかの湯に能が 一七  
ホヨカ 本後の文を位す 亮筆等司 五六  
トツユ 年月を積むでも 甲士ハ雪の肌 雪敷  
トヒモ 年一回ハ たり一燈 既持事以 月  
○トカク 友送を 送ひあをを 見云うるぬ 夢を  
トシニ 朋慾を 主を 頼くのちを産ちり 月  
ホヲフ 細るを 女の色ふきい ち 絲 竹馬



トシハ相懸をさきと志つてハ遠く後 市ノ夏  
トイフ ちで人ニヤの丸内イナ風呂と外 旗捕  
ホトホ 出方おして ちとちと 家に寄るまい 一毛  
ヘクシ 巻巻 甲をくくく おもひ位るまき ち城  
トス 赤寺の門の 津の 柳子 南眺  
ホトハ 時身 供の耳まハ ち麻らし 鄭く  
トコノ 湯流しとすを ちと 懺修 ちち  
ヘヲハ 腹の下のおくけて 喰つる 鼻の下 柳枝

ホウ 坊とたつくと ちと 城 ち色  
トモワ 四いふ東て 枝くちの付と風呂 芦船  
ト ち 倒されて 侍者 呆報者 ちち  
トシセ ち 鏡の 尿瓶とちと 柳戸物や 竹馬  
ホシワ 本教寺 ちち石山で 悪る 堅い 夕ト  
ヘナ 及吐の 皆中を ちち 楊美妃 仙子  
トコヤ 細岩 ちと ちと ちと ちと 一毛  
ホヒサ オト集 ちと ちと ちと 柳子 時丸  
トハセ 時ハ今 鼻の下 ちと 猿のち 南北



ホキニ本意の云傍つてまゝ未練と  
トハ子戸を叩き後の上へ舞きたゞ  
ホスカを書書の釋を曲輪て感しられ  
トイカ富ハ是一生在の堅軟父  
ホハ牡丹花一獅子母釈の返り  
トカリ磨きく鏡の後家の早き  
ヘカモ胸くろを雷波とが持てみる  
トキヒ多武の字釋ひもの人斗り  
ホカヲ牡丹條の咲焼條て返り  
士口  
南枝  
五柳  
桂夏  
三巴  
南眺  
竹馬  
鹿角

ヘタ 魚一倒されて大名を産  
ホハハ帆を下げて働く思案又上  
ホトヲ送るんを所所らね思を  
トハフ科もあはは改を後ら書  
ホマナ牡丹餅を懐紙に伝の  
ヘニヒ舟天を女房よりヤ  
ヘフシ條の年の二人二人の  
トマヲるよのまきく  
ホミ 泣きながら  
花を  
竜志  
威ま  
和正  
多  
竹馬  
時丸  
其友  
春以



トコケ 堂下 孫 石 並 や を 蹴り 倒し 去る  
ホ子ケ 四 辰 を 念ふ 父の 職 一 犯  
トモ 存より 連中 紋 二 髭 叢 南 山  
へヒフ 舟 必 切で 宗 子 ま ぐ 障り せん 仙 子  
トナヲ 徳 を 蒔 ち り ち 大 群 集 和 玉  
ホナハ 本 侍 及 仲 人 の け け 掃 渡 る 舟 帆  
トセム 得 ち 辰 の せ 後 で 母 堵 ち 駕 取 旅 助  
ホ、ア 時 多 本 考 け け ち ち の ち 仙 子  
へカナ 岳 ち の 駕 へ 他 人 へ 成 て ち ち 吹 奏

ホトヤ 雲 の ち ち の 日 土 の せ ち ち ち ち 百 廿  
ホ、ハ 柳 で 掃 ち 徒 ち 肉 を 徒 ち せ 琉 支  
トソタ 網 籠 ち 青 ち ち ち ち ち ち 士 口  
ホナア 法 子 本 坊 ち ち ち ち 桂 雨  
ホカレ 本 喜 ち 柳 け 悟 来 礼 智 信 生 ち  
へヨラ 糸 ち 持 ち ち 子 郎 ち 大 士 佛 ち ち 山  
ホカニ 量 移 ち ち ち ち 集 ち 尾 ち 刻 ち ち ち ち  
ホイホ 牡丹 解 ち 後 ち ち ち ち 法 子 ち ち ち ち



トッラ 既死より 獲せの方に 大強き 士口  
へカハ 紅物きりと 顔が 世名の 花ふ 重城  
ホヒン 本意の 水と せや 陸より 桂雨

五 落評

ホクダ 弗子よに 空の 一字を 考とがり 賦子  
へシ 色鄙の 暮も 知ぬ 静徳 淡丸  
トシウ 殿孫の 意を 烟市の 多とを 此好  
トナヲ 常闇と ちとと 若戸を おし 安子 其友  
ホムラ 細布も 狗令や 縁を 後より 一 妻

トウ 供で まま口 被末 屋の 門 一 狂  
へヲヨ 遍思が 乙女を 何の 用で 止た 夢を  
ホワヤ 佛の 別し せり 女の ハ やま 斗り シトシ  
ホビ 蝶の 暮も ちとと 一月 子 弁 一 祀  
トワマ 竹面と ちとと お切を 之 神の 意の 由 春江  
トカミ まま 山を 改帳 ちとと 後の 別業 桂雨  
ホキヤ 法子 改帳 侍と 子と 八きと 感多  
ホカウ 時鳥 柏も ひとと 少 孫 一 眠  
ホヨフ 世帯 目を 除け ぬの 女 徒 一 其友



ホセ 法師一人の背で月うは 子多  
ホト、傍くまの友ハ浦島東方朔 子龍  
ホア、ハ 肥北旅を吹散る 松の風 如王  
ホ夕、ハ 碎の太夫 幽堂の乱れ 嘆 夕ト  
ホツヤ 潮らうま月さうの 逢き 南眺  
ホカハ 報恩の報 病にて死す 母こゝを 志山  
ホヨカ 鳳凰の嫁ハ 葉舟が 舟後リ 志友  
ト子キ 殿 孫二がト 何屋まてか 何屋まてか 南眺  
トウセ 回ひ 旅す 旅 舟ハ 海の先 取られ 里路

ホヨチ 帷て 埋む おしるを 卷き 涼床 巻 子多  
ト子 鶏の言 政で 教く 確り子 子多  
ホモト 衣付く 衣の 曲輪の 衣 天衣 草童  
ホカニ 彫り 彫り 彫り 知く 知く 知く 衣を  
トカニ 毒の 何川 玉あり 天女が 若く 夕ト  
ヘヲニ 色し 色し 色して 標く 意 意 民人  
ホチ 管 吹く を 猪牙の の 船 衣 衣  
ヘクク 塚の 何の 烟く 令法 衣を 衣 衣  
ヘクシ 下 下 下 下 下 下 下 散人







へアケ 平家彈くろの金屏之源氏画 中城  
トタフ 虎刃妓市の床几て涼しくり 巴野  
へウ 勝くろ 残の勤く誓文 二橋  
へシラ 平生の娘未き旅で奢り活キ 市毗  
ホキフ ちむの火若船あしうまゆれ 百女  
トコア 女用テ是く移りわ 妙えの 去木  
トマ ちと終く 糸叩く 冥 民人  
ホノテ 従ひく 後 後おひよこつりぬ 竹る  
へホラ 別家申り 婿記妻と遺物し 百女

トア二 得えくろアノ身しん 女房でハ 一毛  
ホナ 二重も火花ちく 古戦場 夕トシ  
へタテ 扇と端ハ 舞弓の響き 出雲の 疲 巴野  
トヒア 年こく人ハかえれとア、 桜 桂 兩  
トイナ 老を 膝に 性て 對面の 乳見方 子 友  
トハ ちとく内へ 這入る 幽霊 服子  
へシカ 葦 葎レ 性く 老僧の 柿 衣 夕トシ  
トノミ ちひ 持ち ちとく 師子も 足 踏 和 玉  
トナ 童子も 困る ちひ 名ナ 客 眠子



レア 落 降 び び 蛟 の 申 ぐ 城 青 蛇  
 ヘカ子 赤 草 へ 虎 の 金 兼 子 子 子 子 子  
 ホヨツ 時 夜 舟 の 意 を 宮 前 一 柱 雨  
 トカ 殿 の 威 光 を 皇 又 紀 尾 州 青 蛇  
 ヘタラ 反 吐 せ ぬ や 大 和 尚 上 八 咫 丸 内 山  
 トカヒ 綱 怨 又 絶 借 ら ぬ ぐ 皇 孫 の 五 六  
 トロタ 遠 々 へ 赤 糸 を 投 ぎ く 湯 の 糸 皇 城  
 トヲフ 惜 蛇 の 尾 を 石 火 夫 へ 船 渡 了 湯 丸  
 ホトキ 穂 も 卵 の 穂 を ち ら ぬ け 狐 之 其 友

トモ子 麻 呂 信 守 ぬ 親 の 世 と 遠 心 柳 中 城  
 ホヲヒ 佛 よう 思 と い ち ち 人 又 意 怨 糸 柳  
 ホヲ 惚 へ 居 ち くと 思 や ち ち 眼 湯 丸  
 トキミ 夜 毎 が 紀 伊 大 勢 一 己 代 の 春 竜 志  
 トモヒ 老 眼 燈 物 の ソ 以 交 へ 人 又 付 け 一 赤  
 トヲマ 虎 息 子 親 言 代 の 救 も 賣 り 浦 丸  
 ヘイワ 平 家 蟹 一 つ 色 無 念 を 頼 り ま 一 仙 子  
 ヘツヲ 赤 菊 まで 諾 へ て カ の 赤 目 和 竹 馬  
 トヒサ 年 々 ち ち ち ち ち ち 花 の 桜 竹 二 角



ホテホ 忙れりくちれ後て居て忙れぬ 一 狂  
トサニ 愚へさす 盃 国で二とあひまう 桂 雨  
ホヨキ 本をいとあふせ 房の志のましま 南 馳  
ホアス 物 狼を 洗ふて 暖湯に 湯衣 湯衣  
へトハ 縁うとくく 古橋に 舟の 舟を 知 五 六  
ホテハ 舟 膳が 出ると 仲居の 舟ひやう 其 友  
ホハ 縦ロハ 妻 ぬも 倚 ぬも 民 人  
トユカ 殿 椽と ちかすも ちかす可き 湯 丸  
ホカイ 宝 物に 借りに 来ると 百の 障 南 馳

今ホ 今本名がくし 兎の 寺入 竜 志  
トヤナ 毒 鼠の 種れ 口きう 交の 月 仙 子  
ホヨツ 是 命の 宿す 志の 子と 子し 竹 馬  
ホコテ 本 色ハ 子の 俵正 へも ちつ 二 角  
ホリフ 本 掛の 志え 許ハ 不ニ 玉 和 玉

巴 野 評

へノイ 舟 留の 詰り たり 親と 子もの 竹 馬  
へイ 謙 するもの 入る する あり 志 友  
ホナハ 本 流る 流る へて 初 櫻 眠 子



ト一夕 隣りを迎へてまゝに往來させ  
トクワ 同ヤ 咄スロのききいん かくしせり  
ホワシ 魁しんものまを耽るを癪押へ 志友  
へモ 偏屈と文育と 宗論 子胤  
ホヨシ 喰ひそるる 女を名のり 子角力 竹馬  
トヤチ 幼ふやうにある ちんちんの粧ナ 子城  
トハム 供ハち 海四と人ハ六の花 日  
トヨシ 殿極の奢り 一命 娘未やぬ 系柳  
ヘカシ せりする 老一徳のしのおよ 民人

ヘイモ 扇うさうはさくを おちも ちんちん 二掃  
トマサ 豆 椒 奴の眼ムハ 柳 とうり 三巴  
トタコ 取うさくみマ 系 嬢を乞て喰 志友  
トウキ 友 達の 中を 宴ム づくと 親 和玉  
ヘナフ 福ふいのかい 頬りまへ 不みぬえ 浦丸  
ヘシケ 辰の 舌を 衆く 席と ちんちんの 月 子城  
トコウ トとそそ けを ちんちん 志友 時丸  
ヘー 下も 志口 説人 遊を 志友 子城  
トシミ 船 歌ハ 姑人 色 志友 志友 士口



トワケ ねえきツイワケありきありき 甫叱  
トミフ 乃徳のミウハ 俵の不事市用 千城  
ホウマ 株の事ニ 儲けありハ 安んじもの 亀角  
トハコ 取り違いた 差のきよ 後家とあり 千景  
ホタ 本家の 経年 夫トを ちきり 蔵妻  
トメハ 年々 今月 役を買ふて 休職 千色  
ヘクア 評判の 夫とありき ちきり 千色  
ホフサ ちきり 禪も ちきり 持て 内山  
ホフワ 細及を 端 務りぬき 経年 百廿

ホ子フ 法名が 念佛 法中 佛法 他 威妻  
トヒツ 古俵 藤つらと 眠子  
トウ 籠ニ 入り 籠入り 里際  
ヘキ、 偏りぬ 兼て 大敵の 事 春江  
トヨヲ 年 ありき ありき ありき 一花  
トユフ 年 ありき ありき ありき 桐浦  
ト一 夏 ありき ありき ありき 一亭  
ヘ△ へい ありき ありき ありき 千景  
ホナト 千景の 事と ありき ありき 寺 妻



トヲテを芝系押分け孫も信人 秀色  
トウキ毒の何る瓜こえ人 幸陽尼を 一秀  
トヲモ友直くも悪あり 富士を足移し 三巴  
ヘフヤ平の世の武具を強形と遷し 氏人  
ホイヒ嚙り物ごとく しのびも母ハ隣つむ 漆丸  
トサハ隣 同士の 依く本根系 初松 一秀  
ト子 兵衛へ古佐方の母おろし 南孝  
ホハ 幸人の 定まらぬ 焼く 扶月  
トヒワ 年ひらくく 居へ隣 羊ふらり 三巴

トヲ 戸袋くけもきく心 終系 有唯  
トシナ 馬くぬるふいをれぬもつち 志友  
トノソ 毒蛇の口造りぬるを 難養ふ 夕トシ  
ヘヒハ ぬる甲の日和えるのハ 腋のうへ 相情  
ヘナハ 福 襦もふい 親父なり 博学な 威麦  
ヘシフ 別はぬらうり まするも 留似る物 き城  
ホウア 本意ハ 生れもつらぬ 何ホエを 小田照  
ホシテ 本意の 志くぬるこえんぬ ぶら 志多  
トノハ とうふと せうかふんたる 持子より 小瓢







ホヲキ本妻ハ夫ノ湯をききくりり 士ロ  
ホカ、佐界して河童大 煙草の會 眠子  
ヘシタ屍をこいて屍をすぶる短氣者 散人  
ホケ 細い 持ちが 芝居の 大将 小田照  
トシフおとく主ウマ家一年老をられぬ 威妻  
トイマ 僕マ天載て居る 君ハ非人 一毛  
ヘイ せうやまつるハ 字一ハ 隙 浦丸  
ホシハ 穿を穿くした 方夫もし 穿くユあり 百廿  
ヘハヒ 穿くユあり 穿くユあり 日の出入ハ 三巴

トイ ぬメホ戸 叩キ いろはく 小田照  
トハマ とももの 放さぬぬ 非く 秋丹  
トニソ 底コ上く せ房 伝やう 袖へ入れ 老多  
ヘス 平生の 氣ハ 吸物 又ス 菊水  
トヲム 乃 鏡の 知念 たり なる のゆ 南眺  
ホアフ 坊ミ 丁 兜 天窓の方へ ぬきん 志を 三友  
トヲス 戸口 かく かく 一と 持 悟 京 一毛  
トヨニ 友 志を 志を 志を 志を 志を 三巴  
トヲカ 志を 志を 志を 志を 志を 千原



トキワ 尚世と云ふが仲居の親レ方の 秋月  
トテ とうやう遠いよ 柳くくあそ 仙子  
ヘラス 辰とも世を思ひぬ 未だう居ぬ屍 土口  
トヲ さんよ生れく 親よ者り 一麦  
トヲコ 父娘さんの成ん体り 後家破る 一乞  
トスナ とうぞア居らと泣へちと居りり 三巴  
トツク 障へハ月の影現るく 菖を建 桂雨

江戸舊評

ホニ二 幸るよハ 勝イてはまー 勝てらー 柳枝

▲五十四

ヘツイ 赤ゆゆの 後夕花 歌とりよものハ 竹馬  
トレウ 花見をくくく 名菓 女房の着籠 民人  
ホワタ なるをくく 己シヤ 菖くく 抱志あり 陣丸  
ヘキア 原風の 詩書けハ主人もあつた 志友  
トアメ 海流の 油と書書の 眼く早い 百女  
ホコカ 細沙次は是足よりの 表をかし 南眺  
ホワタ 愛人のをまの 居ハ書書の 旋こ 相備  
ヘタウ 紅粉店ハた 喜更レリヤハ 喜更レヤハ 喜更 喜更  
ホ 岡原の 側こ 坊主 投そ 百サ



ホハナ 旅しも 孤なる 粥の 何ナキ 赤山  
トコ又 隣りも 子なり 借り合ふ 樽代衣 夕トン  
へ、ウ 別業ちり 別業ちりの 氏ニ 恥 止 好  
トコハ 夢なる ところ 一と 恥く 其友  
トカハ 取り 夢く 夢く 夢く 夢く 初指子 千多  
トエヒ 何なる 夢く 夢く 夢く 夢く 猫 眠子  
ホエウ 帆ニ 携日 遠く あり 浦の 赤 一毛  
ホケユ 寄れて 旅し 夢く 夢く 夢く 夢く 家 色  
トウニ 何なる 夢く 夢く 夢く 夢く 庭 勝々 旅 助

トケツ 靴し ても 旅し ても 淋し 夫の 夢 五六  
トヒウ 四つ ねん 人の 減を する かり 日  
レハカ 隣り 母の 油 取 へ 飯 乞 する 赤 色  
へヒセ 矢 立 ても 百年 月 あり 人 目 志 文  
トカ とも 行 義 叶 へ 夢 士 口  
トハカ 夢 する の 夢 一 夢 かの 旅 眺 メ 時 丸  
ホコハ 持 ち ても 行 義 叶 へ 夢 志 旭  
トコカ 夢 する 子 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢  
ホ子 夢 捨 け 夢 入 る 親 造 夢 夢



トヒラ 解令て屏風へしける 子と争  
 トウハ 名を程と装しあひ程放しとて 五六  
 トフミ 四ひこくる 風呂のか減もくも 七  
 トウチ 得んぬくき 巧つて 父らしん 妻色  
 ヘユモ 塚とて行猫とてい 相思ひ 子  
 トツ 鶯がたれと 就身とて 南小  
 ヘノフ 紅粉てまりの 花嫁の茶初 仙子  
 ヘテ 下子と肩とて 足様云 内山  
 トハ 戸へ吹風と 名くの身が散る 南眺

▲五十六

トラシ 解けぬ 狗帯メ車ーメ車ー 夕トシ  
 トクニ 隠の子抱いて 淋しい 母房より 妻色  
 トアカ ちやうとちやうと 糸一針 縫えし 五六  
 トシハ 殿様と ちやうとちやうと 取くし 妻色  
 トヤカ 赤も ちやうとちやうと 飾のうし 杜若 妻色  
 トナス 四つとて 遠ひが ちやうと 取くし 一口  
 トチハ 朋忘れする 取次の うつとて 妻色  
 トスウ 懐かれて ぬるとハ ちやうと 妻色  
 ホトナ 戸を ちやうと ちやうと 細遠が 妻色  
 三巴



トナス解けて いろ 遊む 娘の 居る 所  
トフハ 何地 風々 吹て 出と 花々 南  
トメニ 堂假 装 履 禁く 尼の 女房 年 暮  
ホ、細い 改次 祝く 細月の 細い 腰 里雪  
トフネ 虎の 尾を ふむを 尾母の 赤く 巨魁 ヲト  
トマシ 回ひ 巻す まで ハ申く 呵らぬ 床 今  
トリチ 他 吹の 科 衆へ 抄の ちりこり 一  
トヒコ 年ろく びくく 強ふ ちり 巴 勢  
トツ ちつで 安うハ つかぬ 頬 ちり 去ら

平上

トテリ ちり ちり 洗 抱 ちり 科 死人 花 抱  
ホツキ けら 碎の まへ 痛 遠の ちり 其 友  
ホ子ヲ 髻 見ハ 持ぬく 声と ちり 柳 枝  
トフヲ ぬんて 不 自由 ちり 面白さ 夢 夢  
トキシ 泥 是の ちり 乾キ 草 蒲 葉 眠 子  
ヘイ ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり  
トヲエ 細 欲を 男て ちり ちり ちり ちり 南 小  
ホニソ 井 子と ちり ちり ちり ちり 世を 退て ちり 夢 色  
トクサ 殿 遠の ちり ちり 勝 ちり ちり ちり 助 ちり 友



ホキ 帽子ののりぬ 九尾令毛 氏人  
トマヲ 種ちん敷 万葉村のちやち分 ちん色  
ホイ ちんちんものゝ 衆を頒け 氏人  
トネコ 友を呼ぶ 描をちんちん 止好  
赤ヲツ 佛やち 鬼の泣きやち 角大師 ちん城  
トナハ 毒忌の中の一を 取ち 其友  
ホシヒ ちんちんのちんぬぬ 女の 孤月ちんちん ちん色  
トヲ ちんちんちん 女をちんちん ちんちん 山  
へホテ 平等に 施す 後泉の寺 糸ちん 夕トシ

▲五十七下

ト、ウ 障ちん 戸を叩く ちん若女 五十六  
ホウ、 煩悩の ちんちんちん ちんちん 仙子  
ト子ヲ 戸をメて 扉てちんちん ちんちんの面白さ 一色  
トヨシ ちんちんちん ちんちんの 狗を 癩ちんちん 竹馬  
へシコ 編屈を 仕仕を ちんちんの 講次 一色  
ホトシ ちんちんちん ちんちん ちんちん 別業 百合  
トヨミ 唐人の ちんちんちん ちんちん ちんちん 折月  
トキニ 取ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん 出来  
トスウ 年用ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん 出来







虎勇評

ホトチ 夢ふの床に 淋しき陣扇子 一抱  
 ホウキ 本後の血を 父も嗜て 夢り  
 ホムム 方丈ハまじ 障りあり 杖の屯 一口  
 ヘサカ 別業のさく 娘まの 敷るう 予城  
 ホシナ 時を 罪のおと けのあつ さい  
 ホニ 活神の 旅の 似合ふ 悪人 シトシ  
 ホテホ 帆柱も かる山 持て 頼り 志友  
 トモト 徳用も ちの 女房と 年う ち  
 志友

▲五十九

トコヤ 得るの 心を さそふ 山 杖 其友  
 ヘ子コ 別くも 癖るが 女夫の 意を 志友  
 ヘム 表れ たらけ 杖 句あま 志友  
 ヘウチ 紅粉を てるう 扇の 葉持 志友  
 ヘクシ 舟を 喰ふ 奴ッ 後の 調眺 民人  
 ト夕ヨ 借の 本も 旗を もあめ ぐり 山 一妻  
 ホウア 帆の ちを うち 於 甚 變 じり 里 棟  
 トイヲ 梅 梁ハ うち 苦の ちい 大 善 佳 南 眺  
 ヘミト 別 家 すら まで ハ 夢 祝 年 ち 志友 桐 楠



又ホイ忙らぬ姿柳のぬき事一さ  
トコヒともあつてそのゆたは  
へサ又赤いゆたのさし  
ホキミ本位とゆつて曲輪の足包  
ホミ 掃火へ 延見 三女夫の足  
トコヒ ぬきを運ぶ 侍の心  
トナイ ぬきをぬき ぬきをぬき  
ホカミ 忙れてゐる ぬきを  
へコサ ぬきをぬき ぬきをぬき

トホ ぬきをぬき ぬきをぬき  
トイカ ぬきをぬき ぬきをぬき  
トシ ぬきをぬき ぬきをぬき  
ホナチ ぬきをぬき ぬきをぬき  
トヒラ 戸柳をぬき ぬきをぬき  
ホモア ぬきをぬき ぬきをぬき  
トシハ ぬきをぬき ぬきをぬき  
トワカ ぬきをぬき ぬきをぬき  
トニヨ ぬきをぬき ぬきをぬき



トヤノ どれがまやう 百姓の世の尻リ 南孝  
トシ 泊メと行脚と 尿管お金フ 吹寄  
ホウシ 本まは思うし のぞ一ト思ふ事 十水  
ヘフタ 別業の言後て 賣物と大工ノ名 竜角  
トコ、 翁さんの子ミヤ 男の子ハをこ 氏人  
トハ、 友とちの母のりつのも 母と似る 里妹  
ホイカ 本腰の今つるやうな 哥仙の袴 五城  
トスレ 心をその末足てまらと 尻うけ 吹寄  
トヒト 友はの比身をも 養ふる年とちう 一草

トマカ 年とくはきくちう 花子とよま 五山  
トウヒ 花移けと運ハ 義人の娘ちう 和玉  
トキ 網畜生に 多でべつとち 志友  
ホト、 時を法のものまや 取り金取 里妹  
ホウチ 慾しもの 賣しと夫の 床入を 五六  
トウコ 時鳥と 移つとたうの 弱のち人 一犯  
トクワ 友持 昔のあいの 司まら 和玉  
ホニキ 鬼燈を 告て 隠して 終仕する 五山  
ホカワ 吹寄と 花と 清めりれと 倦キ 月



ホハヒ 本旅寺 堀の 歩兵を富く 隙ヶ所 其友  
ホイツ 堀 昏る 井戸のきり 言ハ 斗り 仕る 相浦  
トムシ 供へし 妻 奴 却て 呵ら けく 一 杞  
ホハヤ 中 後み 母ユ 苦 累を 妻り ぬ 赤山  
トノコ 泊ム 旅 傍に 我 田の古 跡 守 南 山  
ホミク 本 書ハ 尺を 付く 杖を 組を 弾 祇 林  
トシハ 取り 安イ 姑の 糸を 初ッ 飾り 中 屋  
トリス 泣 糸の 白さを ぬハ 靴を 漬け 夕 トン  
トヲ 糸 函を 物と くと けつ 考 五 六

三十二

ト夕 堂 守りハ 埃く ちく 大ニ 多 威 妻  
トシヤ 当 世を 一リ して 百姓の 病い もの ちく 多  
トアコ 徳ハ 書く 所 ぬ ぬ ちく ちく 赤い 眠 子  
トウハ 仰 けりハ 糸 母が ちく ちく ちく 里 塚  
トスサ 取り 際 の 吸 物 守 糸の ちく ちく ちく 赤い  
ヘイ ちく ちく ちく ちく ちく ちく 月 吹 子  
トイ 戸 棚の ちく ちく 因 果 ちの ちく ちく 志 友  
ヘホシ 平 生を 思 えて 足 の ちく 仕 換 ぬ ちく 不  
トコ ちく ちく ちく ちく ちく ちく ちく 仙 子



トアト 調りて ちる 合別ニ 年々 尺三 赤色  
 トヲ 回つた 葉を かる 花の 毒 子珠  
 トイ、 ちちと ちちと 花の 毒 五六  
 トメテ 殿様ニ 石と ちちと 子珠 赤丸  
 トフシ 隣り ちちと 不自由 ちちと 麻の 毒 百合  
 トアヨ 花の 毒 ちちと 白の 世の 毒 花我  
 トウニ ちちと ちちと ちちと 花の 毒 赤丸  
 トニハ ちちと ちちと ちちと 中の 毒 蓮の 毒 三巴  
 トカエ ちちと ちちと ちちと 花の 毒 一丸

▲六十三

トコヲ 土俵入 ちちと ちちと ちちと 其友  
 ホチツ 佛も ちちと ちちと ちちと 土木  
 トアカ ちちと ちちと ちちと 花の 毒 竜志  
 トレツ 土俵入 ちちと ちちと ちちと 巴勢  
 トキワ ちちと ちちと ちちと 花の 毒 老友  
 ト、イ ちちと ちちと ちちと ちちと 南批  
 ホウノ ちちと ちちと ちちと ちちと 浦丸  
 トレ、 ちちと ちちと ちちと ちちと 南小  
 トコテ ちちと ちちと ちちと ちちと 吹草



トカヤとたけのこ 髪も 髪も 髪も 髪も 髪も 髪も 髪も 髪も  
 トナテ 時斗るのハ 何のハ 何のハ 何のハ 何のハ 何のハ 何のハ  
 トカ 庭うけ 庭うけ 庭うけ 庭うけ 庭うけ 庭うけ 庭うけ  
 ホキミ 本後とつて 曲輪の 足と 此 三 巴  
 トコナ 網罟ハ 祠をかざら ありぬ 中 里 崎  
 ホキワ 本乃を 氣に履メと 名履く 南 枝  
 ホタト 法々いり ちまも 席の 及 具あり 百 合  
 ホミキ 法々いり ちまも 席の 及 具あり 百 合  
 トレワ 布れ 芝居 入り ちまも 席の 及 具あり 百 合

○トニシ 何のやうに 女房の する けしき あり ぬ  
 ホモコ 法々いり ちまも 席の 及 具あり 百 合



笠折句  
新板

推本下物評  
三種

尺

此まゝ和歌三神並  
五言句集の内秀全  
をそとび出ん

笠附  
折句

一日菴及米評  
青霞志友評

浦

此まゝ十言句集の内  
秀全をそとび出ん  
道去るべし

折句

浪毒十二評  
南紀五柳評

鶴

此まゝ八言句集の内  
秀全をそとび出ん  
他角力集にて古今  
の名句をとりぬ

折句  
大新板

浪花十二評

川

此まゝを代ぬ達人乃  
名句をとりぬ角力  
の勝者をとりぬ

俳風

浪花十二評  
櫻

樽

此まゝいろは文字と一字  
づつ冠する大書のみ秀全  
をそとび出ん

俳諧書林

紀州若山新通二丁目

帶屋伊兵衛板







